

東野污水处理場跡地「旧楽花苑」活用に関する住民説明会

1 事前にアンケート等にあった質問について

Q 1 アンケートの中に、様々な子供たちの通学路に当たるので、子供たちの心理的配慮が必要と、ご意見をいただいております。

A 1 いちよう学級では、開設時間が 10 時から 15 時となりますので、近隣の東海大学付属浦安高等学校中等部の登校時刻 8 時 35 分と 6 時間目終了時刻 15 時 25 分と重ならない時間となっています。

Q 2 アンケートの車両交通関係に関することにおいて、路上駐車心配や、東野 3 丁目内の乗り入れ。事故の心配や駐車スペースの確保。住宅街への影響を心配する意見を多数いただきました。

A 2 いちよう学級への通級は、徒歩を基本としており、中学生は自転車の利用を可能としています。車での送迎は行わないこととしています。緊急車両の出入りとして、駐車場は整備する予定です。さらに、交通ルールについてしっかりと指導して参ります。

Q 3 いちよう学級猫実や入船の見学はできますか。

A 3 ご希望の方には対応します。ご相談ください。

Q4 なぜ、この場所なのか。

A4 見明川地区と弁天地区からは、既存の施設は距離があり、南側への設置を検討する中で、3カ所の市有地「旧楽花苑」「富岡公民館駐車場」「東野市民プール駐車場」を比較し、「旧楽花苑」を選定しました。

Q5 施設規模は決定なのか。

A5 お示しした資料では、規模は現時点で最大の大きさを示しております。今後、基本設計を行い、詳細については、運用を踏まえた検討を行いながら、施設規模についても検討して参ります。

Q6 住民の生活や生活環境に影響がないようにして欲しい。防音対策や安全第一にしてほしい。静かな暮らしを守りたい。

A6 周辺環境に影響がないように、防音対策や安全第一に努めながら整備を進めていきます。なお、既存の猫実や入船では、これまで地域住民から苦情があった事はないことから、いちよう学級は周辺に影響がでるほどの音は発生しない施設となっています。

Q7 地域住民への説明計画の進め方。わかりやすい説明や話し合いなどを、進め方に対する疑問がある。

A7 今後はアンケート結果を踏まえ、丁寧に説明していきたいと思います。

Q 8 地域の方のサポートで学習や体験をしたらどうですか。

A 8 地域の方のサポートで、小中学校の子どもたちが学習や体験ができましたら、本当にありがたいことだと考えております。

Q 9 既存防災倉庫はどうなるのか。

A 9 防災倉庫についての協議についても行っていきます。

Q10 「旧楽花苑」の土地について、ハザードマップで見明川がそばにあるから危険地域ではないか。そんな場所で大丈夫なのか。

A10 法令や条例などにに基づき、施設整備を行います。

Q11 1500 m²もの敷地は必要なのか。高い建物になると想定されるが、近隣住民は空き地という静かな住環境が脅かされるのではと懸念する。

A11 施設の規模は、計画段階ですので、整備計画は、最大の規模が記載されています。

また、高い建物を整備する想定はしていません。周辺環境に配慮した形で検討していきます。

Q12 植栽と倉庫をどうするのか。

A12 住民の方の意見を聞きながら、検討していきます。

Q13 土地の地下の状況を教えて欲しい

A13 地下の埋蔵物等は撤去済みとのことですが、掘削により発見され、建設工事に影響するのであれば、必要な措置を講ずる見込みです。

Q14 避難所機能はどんな内容になるのか、どんな機能を置いていただけるのか。一時避難所や施設貸出等の運営は誰がするのか、災害等の非常時対応の貴重な拠点として現状のままであるべきと考える。

A14 一時的な措置として有事の場合に避難できるといった使用ができればと考えて、検討して参りたいと思っております。

Q15 施設の貸し出しについて、他のいちょう学級では実施していない。貸し出しは必要なのか。他の街区の方がたくさん来たりしたら迷惑だ。

A15 市としましては、貸し出しということを考えておりましたけれども、逆に貸し出すことによって、他の地域の人が来ることが迷惑という意見もふまえ、今後検討していきます。

Q16 市が考えているスケジュールを教えてください。

A16、おおよその目安となりますが、今後、基本設計を令和8年度中に行い、基本設計ができた段階で、住民説明をします。その後、実施設計を進めた後、令和9年度に工事に入ります。工期は1年ぐらいの見込みで、令和10年度中に、開級したいと考えてい

ます。

2 住民説明会であった質問について

Q17 自治会とはどのようなやりとりをしたのか。

A17 自治会の方とのやりとりについて、「市と地域とのやりとり」については、あくまでも自治会さんの方が窓口ということになりますので、窓口としてどのように、説明会を行っていくべきなのかというようなことで、相談をしたところです。

その際に、相談したのは賛成だとか反対だとか、そういう話ではなくて、あくまでもやりとりの手段についてご相談とご挨拶をしたものです。

Q18 自治会に説明する際に、どのような話をしたのか。

A18 今回もお示しした「いちよう学級第3施設整備計画」にそって説明しました。

Q19 市の中で、旧楽花苑の土地の活用について、他の関係部署とのコンセンサスはとれているのか。

A19 市の中でのコンセンサスがとれているのかについては、庁議に図り市の施策として進めていくこととしています。

Q20 今回のアンケートでは、まだ内容も把握されていない中での結果なので、再度アンケートしてほしい。

A20 今回のアンケートは、いちょう学級についてどう思いますかではなく、旧楽花苑の土地の活用についてのご意見をお聞きするというアンケートとなり、土地の活用については、いろいろ不安なことがあるとか、その辺のお話を聞きたかったものです。

Q21 いちょう学級ありきのアンケートではないか。

A21 いちょう学級ありきではなくて、市としての計画はいちょう学級と考えておりますけども、ありきで、アンケートを行ったということではないです。

Q22 計画は変えませんかとの確認なのか。

A22 まだ形も絵も書いておりませんので、形ができましたら、またご説明させていただきご理解いただけるように努力して参りたいと思います。

Q23 違う場所でもよいのではないか。

A23 検討する市有地については、空いているように見える土地があったとしても、今回の不登校の児童生徒が通う施設と考えた時に、学校の近くはふさわしくないなどの理由から、比較検討から除いて最終的に3つの土地の比較検討により、「旧楽花苑」が一番いいということになりました。それでも色々な課題はございます。住宅地でありますので、様々な課題があることは認識しています。まず、そういった課題については、な

るべく影響がないように整備を進めていくしかないと考えます。

Q24 例えば不登校のご父兄の方で、「旧楽花苑」にいちよう学級ができれば行きますよとか、行きたいですよっていう方はいるのか。

A24 ここにできたらっていうことではないですが、猫実や入船は遠くて通いづらいという方はいます。

Q25 「旧楽花苑」にいちよう学級ができたらしきたい方は何人いるのですか。

A25 実際に、ここにできるから通えますかというアンケートをとったわけではございませんが、近くにできたらいいという声は複数人あります。

Q26 費用対効果について考えているのか。

A26 不登校の子どもたちの居場所については、いくつもの選択肢を設けられるよう目指しています。まず、学校内での居場所づくりをし、不登校の子どもについては、いちよう学級や他の施設を利用するなどを踏まえて色々な居場所を検討しています。

Q27 なぜその今ある2つの学級を、もっと行きたくなるような場所に検討しないか。

A27 現在の2ヶ所ある学級はとても充実していますし、子どもたちが行きた場所として運営しています。しかし、人数が増えていて、そもそも大人数が苦手という子どもたちなので、少人数で過ごせるように、3つ目を検討しています。

Q28 近隣市の状況はどうか。

A28 近隣の市町村は市によって形態が違います。お隣の市川市はとても面積が広いので、当市のような形ではなく中心部に2ヶ所です。

・・・・・・その他、住民説明会ででました意見・・・・・・

(1)そもそも、施設をつくる事は出来ない場所のはず。

(2)旧楽花苑のそもそもの最初に立ち返って、市長・副市長等から説明があるべき。教育委員会が説明する話ではない。

(3)全員のコンセンサスが取れて始めて進められる計画だ。

(4)アンケートの取り方がおかしい。きちんと説明がされてから再度取るべきだ。

(5)いちょう学級ありきの進め方がおかしい。

(6)不登校の子に配慮しているのに、住民への配慮はない。

(7)不登校支援(教育支援センター)に関する国・県の考えはどうか。また、近隣市の状況はどうか。

(8)費用対効果として、子ども1人何千万円かかると議会で答弁できるのか。

(9)旧楽花苑に近い住民から個別に説得したらよいのでは。

(10)基本設計をしてからと言うが中止になるかもしれないので、お金の無駄になる。